

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルリアルスポット相場は、ブラジル中銀による政策金利据え置きを受け、取引開始直後からレアルが急落。4.17台前半までレアル売りが進行すると、その後もレアル安基調が継続し、4.15台半ばで取引を終えた。COPOM決定後に公表された声明文では、「マクロ経済シナリオ、物価見通し、足許のリスクバランス、そして国内及び国外における不確実性の高まりを考慮した」とされ、前回からの変更は、内外市場の不透明感の高まり、の部分のみに留まったが、政策決定の前日に異例のコメントを公表し、突如それまでのタカ派スタンス（インフレ警戒寄り）をハト派スタンス（景気重視寄り）に180度転換させた対応は、中銀の市場対話のまづさを露呈しており、中銀の政策に対する信任を損なう恐れがある（中銀の政策決定に政治介入が懸念される点も、投資家の不信感を強めている可能性がある）。据え置きの決定それ自体は、足許の経済情勢を踏まえれば正当化できるものであるが、その手段には疑問を抱かざるを得ない。

中銀は2013年以降で合計700bpsの利上げをしてきたものの、依然として物価を抑制できていない。足許のインフレ率は目標値の2倍以上に達していることから、市場参加者の多くは2016年も中銀が追加利上げに動く予想していたが、今回の措置を受け、当面金利は据え置かれる可能性が高まった。

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月20日	1月21日	前日比	12月21日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	4,0976	4,1552	+0,0576	4,0103	+0,1449
	対円	JPY	28,54	28,31	-0,23	30,20	-1,89
	対ユーロ	BRL	4,4639	4,5202	+0,0563	4,3824	+0,1378
円	対ドル	JPY	116,94	117,70	+0,7600	121,19	-3,4900
	対ユーロ	JPY	127,35	128,00	+0,65	132,28	-4,28
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	37.645	37.717	+72	43.200	-5.483
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	497,3	495,1	-2,2	503,2	-8,1
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	16,61	16,79	+0,18	16,35	+0,44
DI Future Apr17（金利先物）		%	15,45	15,18	-0,27	16,34	-1,16
3 Months US Dollar Libor		%	0,621	0,621	+0,000	0,593	+0,028
CRB Index（国際商品指数）		Index	156,3	159,1	+2,8	172,4	-13,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

